

一般社団法人 全麵協

2023.9.1

ニュースフラッシュ No. 31



ニュースで伝える全麵協の今

発行:全麵協ニュースフラッシュ編集グループ
編集責任者:専務理事 赤羽 章司

令和5年度全麵協第3回理事会 開催報告

令和5年7月31日(月)午後7時から、リモート会議による第3回理事会が開催されたので、概要をお知らせします。

1 報告事項

- ・五段位認定会(10月28~29日)の進捗状況
- ・「地域交流フォーラムin小淵沢」(7月1~2日)の開催報告
今後は支部持ち回りとし、次年度は西日本支部を予定
- ・人材育成研修会(7月7日スタート)
7月7日、8日都内で開催し応募者16名中11名が参加
- ・そば粉の販売状況(7月10日スタート)
- ・そば道五段位全国大会(11月8日)の準備状況
- ・事務局体制について
- ・入会団体
首都圏支部正会員団体 下総手打ちそばの会
- ・そば大学in富山決算の概要

2 議題

- (1) 全国五段位大会に出場する方の研修会(8月20日)について
諸般の事情で、五段位全国大会に参加を希望して、そば大学に参加していない人の研修になった。
＜全員了承＞
- (2) 各部の今後の事業予定・・・各部長口頭で説明
- ・総務部
8月20日五段位研修会、11月8日五段位全国大会に向けて準備をすすめている。
 - ・地域振興部
8月11日神奈川県平塚市での親子そば打ち教室の支援。8月5、6日秋田県横手市にて東日本支部による「そば大学in横手」の支援
 - ・広報渉外部
会報の発刊に向けて支部担当者との会議を重ねている。
 - ・指導普及部
支部への技術指導について調整を進めている。

- ・段位認定部長：四段位について、282名に案内を出したので今後日程に沿って進めていく。
- ・萩原経理部長兼研修センター部長
事業の中で予算を組んであるもの、ないものがあるが、要望を聞きながら執行してゆく。
研修センターでは、全国から来られて研修を受けられるような四、五段位講座を考えている。また、五段位全国大会に出られる方のために研修センターを開放したい。
- ・企画部長：女性のネットワークづくりを進めている。今年度も新そば祭りを開催する。
- ・山本副理事長
全国大会の参加者に、今年度六段位に認定された方も含めたい。各支部2名ずつ出してほしい。

＜全員了承＞

- (3) 各種規程の検討
今後整備したい規程を、来年の総会に向けて本部各支部の事務局長で作業を進めてゆく。

＜全員了承＞

- (4) その他
そば粉の販売について、今後の全麵協の活動に大きく関わってくるので、多くの会員の皆様に買っていただきたい。そば粉の購入については、ポイントを付与してゆきたい。
五段位筆記試験で受験者が二分化された。点数が届かない受験者に対する対策については、勉強会等の対策を立てている支部もある。支部と会員の繋がりが深くなるので、各支部でも新年度には計画を立ててほしい。

＜全員了承＞

(専務理事 赤羽章司)

各支部から

東日本支部主催【一般公開そば大学in横手】開催報告



8月5日(土)6日(日)の二日間、秋田県横手市において、【そば大学in横手】を開催しました。

秋田県はそばの作付け面積が全国3位のそば県にも関わらず、全麺協の活動が空白地帯でした。

昨年秋に、秋田県最初の最高段位五段位が横手に誕生したのをきっかけに、広く市民・県民の皆様にも、そばの魅力を発信し、そばの素晴らしさを感じてもらい、全麺協の活動を知って頂く機会にと思い、横手市の支援を頂きながら、【そば大学in横手】を開催しました。

特別講師として、ノーベル生理学・医学賞受賞の大隅良典博士をお迎えしての開催でした。横手市からは共催を頂き、教育委員会からは市内全8校の中学三年生650名を学校行事として参加させる旨の申し出があり、当初予定していた会場では入りきれず急遽900名のサテライト会場と本会場の二部構成で実施しました。

素晴らしい講師陣にご参集頂き、内容の濃い充実したそば大学になり、全麺協のアピールになりました。

横手市や地元生産者やそば振興議員連盟等、多くの皆さんと今後の活動の礎を築くことが出来ました。

地元生産者代表の藤原さんが秋田手打ちそば研究会に入会するなど、活動が具体的に動き出しています。



(地域振興部長 赤羽章司)

会員だより

沖縄県で初のそば打ち道場(多目的施設)の完成

やんばる手打ちそば倶楽部は活動4年目です。途中、新型コロナの為活動停止があり不安もありましたが、全麺協本部、西日本支部の皆さんが、物心共に支援して下さい、現在26名の会員となり、これまで小さな喫茶店での練習は手狭となり、会員が気楽に練習できる場を造る事にしました。

落成式当日(令和5年7月15日)、各地から応援に来てくださり、西日本支部の団結力を強く感じております。

落成式当日は朝早くから200食打って頂きすべて完食し、お客様が「美味しい」と言って下さり、沖縄で手打ちの日本蕎麦が定着しつつあることを感じました。



沖縄のそば打ち道場は、沖縄の会員のみでなく、北海道まで、多くの手打ちそば打ち仲間の集う場所になる事を願い広く知って欲しいと思います。地域の新聞にも掲載して頂いたお陰で、多くの体験申し込みを頂いています。

「楽しく・美味しく・健康に！」を合言葉にして、今後も会員一同頑張ります。

今後は、認定会の会場としても利用出来ます。



(やんばる手打ちそば倶楽部代表 宮城久美子)

手打ちそば打ち体験教室 開催報告

*主催：神奈川県平塚市観光協会

平塚市で開催されました「夏休み特別企画 家族で参加、家族で楽しむ手打ちそば教室」のレポートです。

8月11日、神奈川県平塚市民プラザ1Fにおいて、小学生とその家族を対象とした手打ちそば教室が平塚市観光協会の主催で開催されました。20組の募集に対してなんと130余りの応募があるという大変注目が集まるそば会となりました。当日は全麺協首都圏支部から土屋事務局長、そば大学in富山の学長をお務めいただいた松蔭大学の古賀教授にも駆けつけていただき、伊勢原蕎麦打ち倶楽部メンバーが全面協力し指導にあたりました。

「主役」は小学生のため、そば打ちだけでなく農業や食育にも興味を持ってもらおうと、そばに関するクイズに答えてもらったりソバの実に実際に触れたり、石臼挽き体験などで盛り上げました。その後



そば打ちに挑戦してもらいマンツーマンのサポートで無事にそばを打ち上げ、楽しい時間を過ごしていただくことができました。子供より夢中になっている親御さんもいて、若い世代の興味を掘り起こすことにもつながる感触も得ることができました。主催者からは「予想をはるかに上回る反響と参加者の喜ぶ声を聞くことができたいへんいい体験会になりました。いろいろな世代を対象にこうした企画をこれからも続けていきたいと思います」との言葉をいただきました。

今回の企画開催にご尽力頂きました松蔭大学の古賀教授ならびに全麺協の中谷理事長、赤羽専務理事にあらためて感謝を申し上げます。

(伊勢原蕎麦打ち倶楽部 齊藤 聡)

五段位全国大会研修会

8月20日(日)午後、東京都中央区の区立女性センターブーケ21において、11月に開催されますそば道五段位全国大会の出場者の研修会を開催しました。

5月27・28日の富山での記念式典に出席で

きなかった方を対象に行いました。全麺協の基本方針、組織と運営、五段位認定者の心得、指導員と審査員の役割、リーダーとしての資質について全麺協の講師6人による講義があり、その後参加者で意見交換をして終了しました。



(段位認定部長 中村尚一)

人材育成研修会

第1回研修会「次世代の全麵協を考える」



全麵協は日本の手打ちそば文化の醸成に30年の長きにわたり活動を展開してきましたが、会員の高齢化も進み、次の30年を見据えての組織改革が喫緊の課題となってきました。その意味において、この2～3年が組織をリニューアルするタイミングと捉え、新たな全麵協をけん引する人材を育成するために、この研修会を企画しました。

<目的>これまで全麵協の運営に直接関わっていなかった一般会員から有志を募り、全麵協の現状を知っていただきつつ、今後の全麵協のあるべき姿について考えていただきます。それによって次の全麵協の担い手となる人材を育成するものです。

<プログラム>本年7月より12月までに5回の研修会を開催し（内2回はZoom研修会）、最終回には提言書としてまとめます。

<第1回研修会>

開催日：7月7日 富国生命ビル・大会議室

7月8日 科学技術館・第2会議室

参加者：11名（全16名）

講義1～全麵協運営の現状を知る～

全麵協の事業と運営体制の改革（理事長）

魅力ある全麵協とは（専務理事）

事務局の効率的運営（事務局長）

活動とコンプライアンス（顧問弁護士）

講義2～今後の全麵協を考える～

財務状況説明（経理部長）

意見交換

*全麵協を外から見るだけではなく、内情を知ることによって、課題の認識と今後の方向性が見えてきた。

<第2回研修会>

8月28日：Zoom研修会で実施



（専務理事 赤羽章司）

「第1回全麵協そば道五段位全国大会in東京」のお知らせ

とき 令和5年11月8日（水曜日）

ところ 東京都産業貿易センター浜松町館

〒105-7501 東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 4F展示室

※大会への協賛、広告掲載、ブースへの出店をお待ちしています。

・ 会員入退のお知らせ

1 入会

首都圏支部 下総手打ちそばの会（正会員）
（令和5年7月19日）

皆様からの情報提供をお待ちしています。

全麵協ニュースフラッシュ編集グループ

編集責任者 赤羽章司

編集主任 原秀夫

チーム員 山本良明 萩原敏彦 横田節子